

**生涯学習 つうしん**



国見町教育委員会生涯学習課  
 (観月台文化センター)  
 ☎(585) 2676 FAX(585) 2707  
 E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp  
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

**伝える触れる 日本伝統**

12月25日、少年仲間づくり教室と国見っ子わんぱく



福笑いでみんなも笑顔

広場では、お正月の伝統文化の学びを通じて、地域の方々との交流を図ることを目的として、書初めの練習とお正月遊び、餅つき体験交流を行いました。

はじめに、仲間づくり教室生28名は書初め教室を行いました。高橋竹峰先生と手習いクラブの皆さんのご指導のもと、筆の基本的な扱いや姿勢、課題のポイントなどを習い、教室生は福島県書初め展の入賞を目指し、真剣に書きあげていました。



書き初め教室での少年仲間づくり教室生

児童43名は、寿クラブ連合会(富野秀雄会長)のおじいちゃん、おばあちゃん達とお正月遊びを行い、国見の民話かるたや福笑いな

ら、賑やかに交流のひとつ時を過ごしました。



「つきたておいし〜い」賑やかな会食の一コマ

**ハーモニートと音色に感動**



1月14日、阿津賀志学級「ハーモニカの調べ」が開催され、学級生40名が参加し、素晴らしい演奏を満喫しました。

演奏者は福島県ハーモニカ協会(代表木村正雄氏他3名)の方々と、ハーモニカアンサンブルとして福島を拠点としながら東北各地で活動されています。



教室生からのアンコールに応えて

まずは、本県ゆかりの作曲家「古閑裕而戦時歌謡メドレー」から始まり、「ア

メリカ民謡・アメーzingグレース」、「荒城の月幻想的変奏曲」、「童謡・赤とんぼ・夕焼けこやけ」、「高校三年生」、「夜霧のしのび逢い」等、懐かしい曲を演奏して頂きました。

柔らかなで、どこか郷愁を帯びた音色と4名の絶妙なハーモニカが織りなす演奏に、学級生一同魅了され、感動に浸りました。

プログラムの最後は「故郷」を演奏に合わせ全員で合唱し、講座を閉じました。

**スキー大好き!**

冬を代表するスポーツであるスキーを体験してもらおうと、1月26日、小学4年生から6年生までの児童15人が参加して二本松市のあだたら高原スキー場を会場として「元気っこスキー教室」を開催しました。

講師として、福島不忘スキークラブからS A J公認スキー指導員の黒田武さんから3人を招き、国見町役場スキー部の協力を得て、班

ごとに分かれてレッスンを行いました。

今回初めてスキーを体験するという児童からスキーに慣れ親しんだ児童まで、参加者のスキー経験はまちまちでしたが、個々のレベルに合わせて丁寧な指導が行われ、恵まれた天候の中で楽しみながらスキーの実力を着実にレベルアップさせていきました。

初めは恐る恐るスキーを履いていた初心者も、後半にはなめらかな滑りを見せるようになりました。

参加者は「今度は家族と一緒にスキーに行きたい」と笑顔を見せ、スキーの魅力にすっかり夢中になっていました。

スキーを存分に満喫した後は、ふもとにある岳温泉の旅館へと向かい、温泉入浴で疲れを癒し、楽しい一日の体験を締めくくりました。

スキーと名湯を同時に楽しめる絶好の環境の中で、国見の児童たちの笑顔が輝いた一日でした。

**物忘れ、それとも認知症?**

1月17日、成人学級とくにみ女性教室が合同で町



まずは予防。そして助け合い。

地域包括支援センター職員を講師に「認知症サポートー養成及び認知症予防」講座を開催しました。

参加した29名は①認知症の正しい理解②認知症の方やその家族への応援③認知症予防について学習し、また地域包括支援センターの役割を理解することができました。

まず職員による寸劇で、認知症にかかっているハナさんと対応を学んでいるハナさん一家の第一幕を見

ました。

その後、認知症の原因や症状等を詳しく学習しました。引き続き認知症の理解を深めたハナさんの一家の寸劇、第二幕を見て具体的な対応の仕方を学びました。

最後に予防には、食生活の見直し、運動の習慣化等が大切と説明を受け、サポートーの証として「オレンジリング」が配布されました。



意気揚々と記念撮影